



日本共産党 京都市議員  
ひぐち英明  
議会報告

みなさんのご意見・ご要望をお寄せください！

# こんにちは ひぐち英明です

第350号 2019年2月5日

連絡先：日本共産党左京地区委員会 Tel.761-6341  
：左京生活相談所 Tel.781-6622

HP:

## 「京都バスの減便をもとに戻して」 岩倉地域の公共交通の充実を

「岩倉地域の住民の足を守る会」のみなさんが京都市に対して、「岩倉地域の公共交通の充実を求める要望書」を提出しました。

昨年3月に、岩倉実相院行きと長谷町を循環している京都バスが減便され、地域のみなさんが大変不便をしているので、行政の責任で公共交通を充実させてほしい、という内容です。

残念ながら返答は「京都バスに元に戻すようお願いはしている」と話すばかりで、京都市の責任で改善を図ろうという姿勢が見られませんでした。



地域のみなさんが  
京都市に要望書を提出

### 「使いやすさを世界のトップレベルにします」???

京都市は公共交通の政策の柱として、「『京都に住まい、また京都を訪れるすべての人が、快適、便利に利用できる公共交通の利便性向上策を推進し、使いやすさを世界のトップレベルにします』と掲げているのだから、何とかして欲しい」と会のみなさんが指摘されていましたが、その通りです。

岩倉地域の住民の足を守るために、京都市が責任を果たす必要があります。引き続き、地域のみなさんと一緒に取り組みを進めて行きたいと思えます。

## 様々な分野からの思いが次々と ひぐち英明事務所開き

大変寒い中、ひぐち英明事務所開きに130人もの方に集まってくれました。本当にありがとうございます。

倉林明子参議院議員のあいさつに始まり、大学1年生のわが娘とその同級生の19歳コンビが、看護師の勉強をしている中で感じている医療の矛盾、教育予算の不十分さなどを話し、京建労左京支部長が低賃金による職人不足の問題を、ジャーナリストの守田敏也さんから、原発輸出の破たん、災害対策の分野での共産党の活躍の紹介などがありました。

応援の訴えをしていただいた方、それぞれが本当に素晴らしい

内容でした。すべてはお伝えできないので、看護学生さんのお話の一部を紹介します。

民医連の病院に実習に行く中で、病院の方針に共感をしたことを話した後、「いつ

つでも、どこでも、誰もが安心してよい医療や介護、よい福祉を受けられるように、お金のあなしに関わらず、困っている人、弱い立場にある人たちに寄り添い、社会に貢献できる看護師になりたいと思っています。そして、誰もが安心して自分らしく健康に生きられる社会にしていくために、大きな負担なく安心して医療を受けられるように医療費の助成制度などの改善を願っています。そんな願いの実現をはなちゃんのお父さんと光永さんにも託して応援したいと思っています」と話していただきました。青年の素直な願いに胸が熱くなります。

寄せられたみなさんの思いをしっかりと受け止め、市政に反映させていくために全力を尽くします。



## 写真トピックス

「わたしの個人情報を守って！市民の会」(準備会)のみなさんの市役所前宣伝 →



↑京建労左京支部新春旗開きで市政報告



左京で防災対策の学習会 →



### ○ ひぐち英明 ホット・コム ミニ版 ○

次女(中学2年)が、「最近、お父さんとあまり話していないなあ」とつぶやいていたと、妻から聞きました。選挙前ということもあり、忙しくしていることが多いからなあ、と一瞬反省しましたが、よく考えてみたら、一緒にいるときでも、次女はスマホに夢中で、話をしていないことも多いというのが真実です。

スマホは気になりだしたら見続けてしまうし、ゲームもなかなかやめられないようで、付き合い方が難しいと感じます。